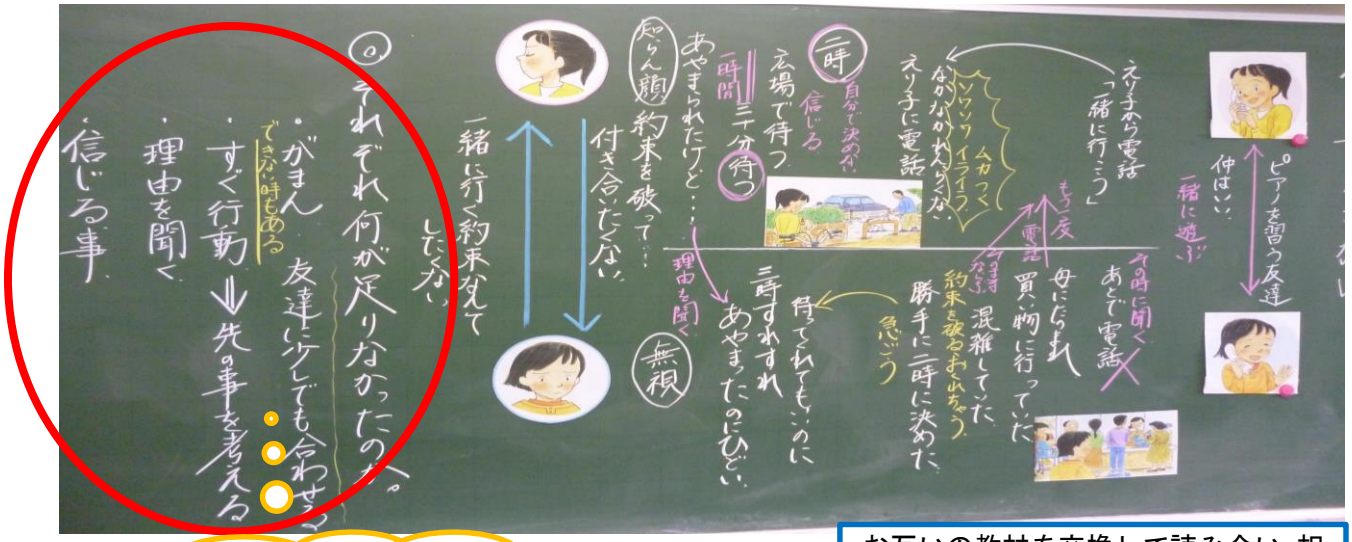
● 指導の実際



お互いの教材を交換して読み合い，相手の事情を知らせる。〈ペア学習〉

教材を通して感じたことを自分事としてとらえている。

先のことを考えて行動することの大切さがわかった。

知らなかった相手の事情を知ることで，それぞれが相手のことを考えず，自分勝手な判断をしていたことに気付かせる。
※自分達の生活の中でも起こりうること

〈成果と課題〉

○導入において，「山・海・島」体験活動に係わる活動の様子を想起させることで，自分達の実態や課題に気付き，本時のねらいとする道徳的価値についての方向付けができた。

○展開において，２つの教材を隣同士，別々に配付することで，教材のすれちがい場面を意図的に仕組み，それぞれの登場人物の思いに寄り添って考えさせたことが，その後の学習に生かされた。

○展開後段から終末においては，再び「山・海・島」体験活動の場面を振り返らせ，自分達に足りなかったことを考えたり，今後の生活への意欲をもったりすることができた。

●導入から展開前段までに時間がかかり，展開後段から終末にかけて，自分事として振り返り，協議する場面に時間が多くとれず，深まりが不十分であった。

●それぞれに足りなかったことについて考える際，行動面での内容が多く，その行動の下支えとなる道徳的価値についての交流を中心に展開していければよかった。

学びを基に，その後の実践へ

音楽発表会

「山・海・島」体験活動　実践発表会